

■**米国：ニューヨーク州が蓄電池導入量に目標値を設定することを決定**

ニューヨーク州のアンドリュー・クオモ知事（民主党）は2017年11月30日、蓄電池導入量に目標を定める法案に署名し、ニューヨーク州は蓄電池導入に目標値を定める州となった。既に目標値を定めている西部エリアのカリフォルニア州、オレゴン州、東部エリアのマサチューセッツ州に次いで4番目の州となる。本法案のA5671号は、ニューヨーク州エネルギー研究開発公社（NYSERDA：New York State Energy Research and Development Authority）と州の公共サービス局（Department of Public Service）に2018年第1四半期中に蓄電池導入量の目標値を含む電力貯蔵設備政策のポートフォリオを策定するよう求めている。その後、ニューヨーク州公益事業委員会（NYPSC：New York Public Service Commission）が導入目標値、およびその値を義務とするか否かを決定する。